オ. その他、現場から特にコメントがあるもの

│金属片番号	R13
--------	-----

①付着状況

防護柵	■●ガードレール		
の種類	□○ガードパイプ		
	□○ガードケーブル		
	□Ο		
防護柵	■●路側側		
の位置	□○中央帯側		
	О		
付着場所	□○ボルト部		
	□○始点側端部ボルト部		
	□○終点側端部ボルト部		
	■●継ぎ目部		
	□○始点側端部継ぎ目部		
	□○終点側端部継ぎ目部		
付着向き	□●順方向 □○		
	■○逆方向		
継ぎ目部	■●順目 □○		
	□○逆目		
接触痕跡	■●あり □○		
	□○なし		

②写真

材質	■●鉄□○	□○プラスチック
形状	□○三角	□○長方形
厚さ(mm)	1.1	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

③金属片の特徴

■整備局からの報告				
(ア)金属片の差し込み側が人工的に				
加工されているように見える				
(イ)破断面が人工的に作られたよう				
に滑らか				
(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と				
一致しない				
(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目				
に付着している				
(オ)その他、現場から特にコメント				
がある				

金属片が防護柵の裏面(歩道側)まで貫通していたが、車両由来と類似した特徴である

④一次判定

車両に由来するものと考えられるか	●YES ○不確定(材料分析必要)
	理由:接触痕及び金属片の厚さから車両と推測

車両に由来するものと考えられるか	●YES ONO
材料分析結果	車両用(外板)、引張破壊

金属片番号	266	事務所名	千 葉	路線番号	R16
35 MAI / I EB - J	200	T 101/11 H	1 🔨		1010

①付着状況

防護柵	■●ガードレール
の種類	□○ガードパイプ
	□○ガードケーブル
	□Ο
防護柵	■●路側側
の位置	□○中央帯側
	ПО
付着場所	□○ボルト部
	□○始点側端部ボルト部
	□○終点側端部ボルト部
	■●継ぎ目部
	□○始点側端部継ぎ目部
	□○終点側端部継ぎ目部
	ПО
付着向き	■●順方向 □○
	□○逆方向
継ぎ目部	■●順目 □○
	□○逆目
接触痕跡	■●あり □○
	□Oなし

②写真

材質	■○鉄	□ ● プ ラスチック
	□Ο	
形状	□○三角	■●長方形
	□Ο	
厚さ(mm)	2.917	



●国総研による再確認結果

■:整備局の判断 ●:国総研の判断

③金属片の特徴

■整備局からの報告			
(ア)金属片の差し込み側が人工的に			
加工されているように見える			
(イ)破断面が人工的に作られたよう			
に滑らか			
(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と			
一致しない			
(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目			
に付着している			
(4) えの他 田根からせにラスン!			
(オ)その他、現場から特にコメント			
がある			

車両付帯品と思われる

④一次判定

車両に由来するものと考えられるか	●YES ○不確定(材料分析必要)
	理由: 車両付帯品と思われる

_	<i>y y y y y y y y y y</i>			
	車両に由来するものと考えられるか	●YES ONO		
	材料分析結果	車両用バンパー、引張破壊		

人民	079	車	古 .体	吸纳采口	D15
金禹万番号	273	争務所名	高崎	路 称番号	R17

①付着状況

防護柵 の種類	■ ● ガ - ド レ-ル □ ○ ガ - ド パ イプ
	□ ○ガ ード ケーブル □ ○
防護柵	■●路側側
の位置	□○中央帯側 □○
付着場所	■●ボルト部 □○始点側端部ボルト部 □○終点側端部ボルト部 □○継ぎ目部 □○始点側端部継ぎ目部 □○始点側端部継ぎ目部
付着向き	■●順方向 □○ □○逆方向
継ぎ目部	■●順目 □○□○逆目
接触痕跡	■● あり □○ □○なし

②写真

材質	■●鉄□○	□○プ ラスチック
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	0.750	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

③金属片の特徴

■整備局からの報告		
(ア)金属片の差し込み側が人工的に		
加工されているように見える		
(イ)破断面が人工的に作られたよう		
に滑らか		
(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と		
一致しない		
(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目		
に付着している		
(オ)その他、現場から特にコメント		
(が)てい他、現場から特にコメント がある		
(N, (M), (M)		

●国総研による再確認結果

④一次判定

. VIIIAC	
車両に由来するものと考えられるか ●YES	〇不確定(材料分析必要)
理由:接触	・塩痕及び金属片の形状・厚さから車両と推測

車両由来と類似

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO
材料分析結果		

金属片番号	394	事務所名	三次	路線番号	R54

①付着状況

防護柵 の種類	■ ● ガ - ド レ-ル □ ○ ガ - ド パ イプ □ ○ ガ - ド ケ-ブ ル
防護柵 の位置	■●路側側 □○中央帯側 □○
付着場所	■●ボルト部 □○始点側端部ボルト部 □○終点側端部ボルト部 □○継ぎ目部 □○始点側端部継ぎ目部 □○始点側端部継ぎ目部
付着向き	■●順方向 □O □○逆方向
継ぎ目部	■●順目 □○□○逆目
接触痕跡	■●あり □O □Oなし

②写真

O		
材質	■●鉄	□○プラスチック
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	0.790	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

③金属片の特徴

■整備局からの報告					
(ア)金属片の差し込み側が人工的に					
加工されているように見える					
(イ)破断面が人工的に作られたよう					
に滑らか					
(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と					
一致しない					
(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目					
に付着している					
(オ)その他、現場から特にコメント					
がある					
(N, (M), (M)					

●国総研による再確認結果

車両由来と類似した特徴

④一次判定

. VIIIAC	
車両に由来するものと考えられるか ●YES	〇不確定(材料分析必要)
理由:接触	・塩痕及び金属片の形状・厚さから車両と推測

車両に由来するものと考えられるか	●YES ONO
材料分析結果	車両用外板、引張破壊

│金属片番号 │396 │ 事務所名 │三次 │ 路線番号 │R54	
------------------------------------	--

①付着状況

防護柵 の種類	■ ● ガ - ド レ - ル □ ○ ガ - ド パ イ プ □ ○ ガ - ド ケ - ブ ル □ ○
防護柵 の位置	■●路側側 □○中央帯側 □○
付着場所	■●ボルト部 □○始点側端部ボルト部 □○終点側端部ボルト部 □○継ぎ目部 □○始点側端部継ぎ目部 □○始点側端部継ぎ目部
付着向き	■●順方向 □○ □○逆方向
継ぎ目部	■●順目 □○ □○逆目
接触痕跡	□●あり□○□○

②写真

材質	■●鉄	□ ○ プ ラスチック
形状	■●三角	□○長方形
	□Ο	
厚さ(mm)	0.793	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

③金属片の特徴

■整備局からの報告					
(ア)金属片の差し込み側が人工的に					
加工されているように見える					
(イ)破断面が人工的に作られたよう					
に滑らか					
(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と					
一致しない					
(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目					
に付着している					
(オ)その他、現場から特にコメント					
がある					

●国総研による再確認結果

金属片を外観した際に、人工的に加工されたもの のようにみえたため

④一次判定

車両に由来するものと考えられるか	●YES	〇不確定(材料分析必要)
	理由:接触痕.	及び金属片の形状・厚さから車両と推測

車両に由来するものと考えられるか	●YES	ONO	
材料分析結果	車両用外板、	引張破壊	

夕屋上来 旦	405	車	+ <i>I</i> +	吸纳采口	Dre
金偶万金亏	405	一争伤川石	上1年	始称番 写	R56

①付着状況

<u></u>	
防護柵	■●ガードレール
の種類	□○ガードパイプ
	□○ガードケーブル
防護柵	■●路側側
の位置	□○中央帯側
付着場所	■●ボルト部
	□○始点側端部ボルト部
	□○終点側端部ボルト部
	□○継ぎ目部
	□○始点側端部継ぎ目部
	□○終点側端部継ぎ目部
付着向き	■●順方向 □○
	□○逆方向
継ぎ目部	■●順目 □○
	□○逆目
接触痕跡	■●あり □○
	□○なし

②写真

0 5 7 		
材質	■●鉄	□ ○ プ ラスチック
形状	□○三角	□○長方形
	■●台形	
厚さ(mm)	1.586	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

③金属片の特徴

■整備局からの報告	
(ア)金属片の差し込み側が人工的に	
加工されているように見える	
(イ)破断面が人工的に作られたよう	
に滑らか	
(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と	
一致しない	
(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目	
に付着している	
(オ)その他、現場から特にコメント	
がある 少し厚い	

●国総研による再確認結果

④一次判定

y White				
車両に由来するものと考えられるか	●YES ○不確定(材料分析必要)			
	理由:接触痕及び金属片の形状・厚さから車両と推測			

車両由来と類似した特徴

_	, ,,,,,,	
	車両に由来するものと考えられるか	●YES ONO
	材料分析結果	車両用外板、引張破壊

소屆上釆무	40 <i>G</i>		+ <i>t</i> ±	敗綽来早	DEC	l
立偶月 俄万	406	事伤川石	工1在	始 称	R56	ı

①付着状況

防護柵 の種類	■ ● ガ - ド レ-ル □ ○ ガ - ド パ イプ □ ○ ガ - ド ケ-ブ ル
防護柵 の位置	■●路側側 □○中央帯側 □○
付着場所	■●ボルト部 □○始点側端部ボルト部 □○終点側端部ボルト部 □○継ぎ目部 □○始点側端部継ぎ目部 □○始点側端部継ぎ目部
付着向き	■●順方向 □O □○逆方向
継ぎ目部	■●順目 □○□○逆目
接触痕跡	■●あり □O □Oなし

②写真

材質	■●鉄□○	□ ○プ ラスチック
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	1.284	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

③金属片の特徴

■整備局からの報告	
(ア)金属片の差し込み側が人工的に	
加工されているように見える	
(イ)破断面が人工的に作られたよう	
に滑らか	
(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と	
一致しない	
(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目	
に付着している	
(オ)その他、現場から特にコメント	
がある 少し厚い	

●国総研による再確認結果

車両由来と類似した特徴

4)一次判定

_	9 9/11 /	
	車両に由来するものと考えられるか	●YES ○不確定(材料分析必要)
		理由:接触痕及び金属片の形状・厚さから車両と推測

車両に由来するものと考えられるか	●YES ONO
材料分析結果	車両用外板、引張破壊

金属片番号 407 事務所名	土佐	路線番号	R55
----------------	----	------	-----

①付着状況

防護柵 の種類	■ ● ガ - ド レ-ル □ ○ ガ - ド パ イプ □ ○ ガ - ド ケ-ブ ル
	ПО
防護柵	■●路側側
の位置	□○中央帯側
付着場所	■●ボルト部
	□○始点側端部ボルト部
	□○終点側端部ボルト部
	口〇継ぎ目部
	□○始点側端部継ぎ目部
	□○終点側端部継ぎ目部
	□Ο
付着向き	■●順方向 □○
	□○逆方向
継ぎ目部	■●順目 □○
	□○逆目
接触痕跡	■●あり □○
	□○なし

②写真

U		
材質	■●鉄	□○プラスチック
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	1.624	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

③金属片の特徴

■整備局からの報告
(ア)金属片の差し込み側が人工的に
加工されているように見える
(イ)破断面が人工的に作られたよう
に滑らか
(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と
一致しない
(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目
に付着している
(オ)その他、現場から特にコメント
がある。少し厚い

●国総研による再確認結果

4)一次判定

<i>9</i> 7(1) <i>7</i> C	
車両に由来するものと考えられるか	●YES ○不確定(材料分析必要)
	理由:接触痕及び金属片の形状・厚さから車両と推測

_	, ,,,,,,	
	車両に由来するものと考えられるか	●YES ONO
	材料分析結果	車両用外板、引張破壊

金属片番号	431	事務所名	長崎	路線番号	R57

①付着状況

防護柵 の種類	■ ● ガ - ド レ - ル □ ○ ガ - ド パ イプ □ ○ ガ - ド ケ- ブ ル □ ○
防護柵	■●路側側
の位置	□○中央帯側
付着場所	□○ボルト部
	□○始点側端部ボルト部
	□○終点側端部ボルト部
	□○継ぎ目部
	□○始点側端部継ぎ目部
	■●終点側端部継ぎ目部
付着向き	□●順方向 □○
	■○逆方向
継ぎ目部	■○順目 □○
	□●逆目
接触痕跡	□Oあり □O
	■●なし

②写真

U		
材質	■○鉄	□○プラスチック
	□●不明	
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	0.790	



●国総研による再確認結果

■:整備局の判断 ●:国総研の判断

③金属片の特徴

	■整備局からの報告		
	(ア)金属片の差し込み側が人工的に		
	加工されているように見える		
	(イ)破断面が人工的に作られたよう		
	に滑らか		
	(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と		
	一致しない		
	(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目		
	に付着している		
	<u>-</u> - (オ)その他、現場から特にコメント		
	がある 金属片に柄が溶接され		
	ている		
<u>1)—7</u>	7判定		

中分なし、終点側端部継ぎ目部

溶接されたような跡がある

④一次判定

車両に由来するものと考えられるか	OYES ●不確定(材料分析必要)
	理由: 溶接されたような跡がある

車両に由来するものと考えられるか	●YES ONO
材料分析結果	車両用外板、引張破壊